

講義情報

講義情報番号	
--------	--

講義表題情報

* 開講学年1	3
* 入学年度1	11～
* 対象学科1	法学
* 科目名1	環境法B

担当教員情報

* 担当教員	二見絵里子
--------	-------

講義詳細情報

* 講義目的・講義内容	どのような環境問題があり、それを解決するために、どのような法がどのように用いられているかを講義する。環境問題には様々な性質のものがあることを確認した上で、こうした問題を解決する具体的な環境法令の内容を学ぶ。また、どのような判例があるかを学ぶ。
* 到達目標	環境問題の性質を踏まえつつ、その対応策について自分の考えを持てるような、基礎的知識を身につけるようにする。
* 授業計画	<p>1. ガイダンス、環境法の全体像 事前学修: 環境法Aの授業を復習すること(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>2. 環境法の基本理念・原則及び環境政策の手法 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと、環境法Aの授業を復習すること(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>3. 廃棄物・リサイクルに関する法(1)ー概要、循環型社会形成推進基本法 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>4. 廃棄物・リサイクルに関する法(2)ー拡大生産者責任、廃掃法 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>5. 廃棄物・リサイクルに関する法(3)ーその他個別法、主要な判例 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>6. 生物多様性・自然保護に関する法(1)ー概要、生物多様性基本法 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>7. 生物多様性・自然保護に関する法(2)ー自然公園法 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>8. 生物多様性・自然保護に関する法(3)ーその他個別法、主要な判例 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>9. 地球温暖化に関する法(1)ー条約 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p>

	<p>10. 地球温暖化に関する法(2)－国内法、判例 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>11. 公害紛争処理法(1)－概要、裁判との違い 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>12. 公害紛争処理法(2)－調停事件／公害訴訟 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>13. 公害紛争処理法(3)－裁定事件／公害訴訟 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>14. 化学物質の管理に関する法－PRTR法など／景観に関する訴訟 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p> <p>15. 公害健康被害補償制度／原子力と環境法 事前学修: 事前配付資料に目を通すこと(2時間) 事後学修: 授業で学んだことをレジюме・参考資料を用いてまとめること(2時間)</p>
* 履修の条件・注意事項	環境法Aで学習した知識があることを前提に講義を進める。
* 成績評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験: 80% ・授業への取組み(受講者数等により変更するが、授業数回に一度、コメントシートの提出を予定している。): 20%
* テキスト	テキストは特に使用しない。レジюмеや参考資料を事前にMoodleにアップする。
参考書	<p>畠山武道『考えながら学ぶ環境法』(三省堂、2013年) 大塚直編『18歳からはじめる環境法[第2版]』(法律文化社、2018年) このほかに適宜紹介する。</p>